

豊かで 住みよい 町づくり



2013



VoL.

51

議会だより

2013. 11. 1 発行

# 上勝

## 9月 定例会

- 2P 25年度補正予算
- 4P 25年度補正予算質疑
- 5P 24年度決算
- 6P 一般質問  
7名が町政について質問
- 13P 椎茸関連視察報告
- 16P まちのようす

# 平成25年度 上勝町一般会計補正予算

(補正第4号)

追加 **1億8,880万円**

総額 **29億7,386万1千円**

質疑討論の結果

補正3号専決について **全会一致承認**  
補正4号について **6対1で可決**

# 690万円

一般会計補正 第3号

平成25年9月定例会

9月定例会は、9月8日から20日までの会期で開き、平成25年度一般会計補正予算・国民健康保険（事業勘定、他2件）・上勝町子ども・子育て会議条例の制定、整理、改定等4件と専決補正2件  
24年度各会計決算を可決、認定した。一般質問は、7人が町政について執行者の考えを正した。

## 9月補正予算

会計名		補正額	総額
一般会計	補正3号	690万円	27億8,506万1千円
	補正4号	1億8,880万円	29億7,386万1千円
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	5,175万6千円	2億8,175万6千円
	国民健康保険（診療施設勘定）	217万7千円	1億627万2千円
	国民健康保険（福原診療所）	80万円	2,793万1千円

### 主な補正予算 3号（専決）

- (民生費)
- 上勝棚田未来生活圏交流プロジェクト交付金 **450万円**
- (商工費)
- 茅葺きカフェを活用した集落再生プロジェクト交付金 **240万円**

### 主な補正内容

- 総務費** 財政調整基金積立金 **1億7,446万9千円**
- 民生費** 地域支え合い体制づくり事業 **350万円**  
(タブレット購入等)
- 農林水産業費** 有害鳥獣買い上げ金 **1,400万円**
- 土木費** 町単独住宅修繕費 **181万円**  
町営住宅建設事業費 **250万円**

# 平成24年度決算

歳入総額 **38億7,390万円** 前年比 ▲4億2,964万円  
 歳出総額 **35億8,497万円** 前年比 ▲5億681万円  
 町債(借金) 残高 **25億1,495万円** 前年比 ▲7,810万円  
 基金(貯金) 残高 **39億7,454万円** 前年比 +2億7,374万円

## 経常収支比率

23年度 **85.7%**  
 24年度 **82.0%**

財政状況の弾力性と健全性を示す経常収支比率は80%以内が望ましいとされている。

## 質疑討論の結果 5対2で可決

## 決算質疑

**明本議員** 第3セクター・町長のメッセージ採用、臨時職員の給与支給について。  
**山田産業課長** 商工観光費より215万7,099円支払い。  
**渡部議員** 公共用施設維持整備基金のなくなった理由は、花本町長 ダム関連の交付金を使ったので、なくなった。  
**松下議員** 中山間直払制度の加入の増減と所得補償制度は落差があり、農業委員会より指導して共済制度加入して貰ってはどうか。  
**山田産業課長** 中山間直払は平成23年度より金額増30万円、面積は2戸増の2万3,281㎡。  
**岩本議員** 明るい選挙推進協議委員は報酬があるのか。また町外の人でもよいのか。  
**横山総務課長** 町特別職・会長で5,500円/日、委員5,000円/日。町外の方でもよい。教育長、老人クラブ会長、青年会会長、社会教育主事の方々。  
**明本議員** 第3セクター、榊上勝バイオ、榊いっきゅう、

**榊もくさんの施設使用料免除額は。**  
**山田産業課長** 榊バイオ100万円、榊いっきゅう1,179万円、榊もくさん87万6,000円。  
**渡部議員** 中学生骨密度調査の結果は。  
**桑原住民課長** 結果に基づき個人指導はしているが、結果分析はしていない。  
**武市議員** 文化財保護委員の欠員をどうする。  
**吉積教育委員会事務局長** 欠員2名については検討中。  
**討論**  
**反対** **明本議員** 渡部議員  
 ①榊バイオシイタケ半自動パックシステムは稼働50%で投資効率が悪い。考え方が間違っている。  
 ②町長の連絡係として雇用している方は、町政事務をしていない。キャッシュフロー業務をしている。給与支払いは違法ではないか。  
 ③第3セクターは施設使用料を支払え。町歳入欠損だ。  
 ④経営検討委員の選任に誤りがある。

## 平成24年度 会計別決算額

	歳入	歳出	差引
一般会計	29億3,486万5千円	27億6,693万1千円	1億6,793万4千円
奨学資金	132万円	132万円	0円
国民健康保険(事業勘定)	3億1,187万8千円	2億5,257万1千円	5,930万7千円
介護保険	3億3,933万3千円	3億3,842万円	91万3千円
国民健康保険(診療施設勘定)	1億1,369万2千円	8,631万5千円	2,737万7千円
国民健康保険(福原診療施設勘定)	2,084万4千円	2,084万4千円	0円
東地区簡易水道事業	8,577万1千円	5,301万円	3,276万1千円
西地区簡易水道事業	1,386万3千円	1,386万3千円	0円
いっきゅう地区簡易水道事業	1,393万1千円	1,393万1千円	0円
後期高齢者医療	3,757万7千円	3,693万8千円	63万9千円
高鉾財産区	37万4千円	37万4千円	0円
福原財産区	45万4千円	45万4千円	0円

(※歳入歳出決算額は決算書に基づくものです。)

## 補正予算質疑

**明本議員** 老人福祉費備品購入費とは。  
**桑原企画環境課長** 県事業地域支え合い事業でタブレット60台購入予定。  
**片山議員** タブレット購入は生産者といっきゅう茶屋とのつながりに必要あるのか。携帯電話で十分では。  
**桑原企画環境課長** いろいろ商品の納入、上勝農産物の情報発信になる。  
**武市議員** 老人福祉予算であるから、弁当配達には独居老人用か。  
**桑原企画環境課長** 独居老人用ではなく、いろいろ等忙しい農家を考えている。  
**渡部議員** 小学校管理費備品購入費とはなにか。  
**吉積教育委員会事務局長** 特別支援学級の特別仕様の椅子である。

## 議員発議

道州制導入に断固反対する意見書  
 全員異議なく採択

### 要旨

国は、町村や議会に対して説明がなく議論もないまま道州制が決定したかのごとき法案を提出しようとしている。  
 事務権限の受皿という名目のもと、ほとんどの町村において事実上の合併を余儀なくされる恐れが高く、住民と行政の距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまう事は明らかである。よって上勝町議会は断固反対の意見書を提出する。

**【提出先】**  
 衆議院議長 内閣官房長官  
 参議院議長 財務大臣  
 内閣総理大臣 総務大臣

森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書  
 全員異議なく採択

### 要旨

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は地球規模の重要かつ喫緊の問題となっており、国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など国民の関心と期待は大きくなっている。しかしながら市町村では、木材



森林保全は重要課題

価格の暴落、低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい情勢にある。よって自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るため、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の保全、整備等を推進するため、税収の一定割合を森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

**【提出先】**  
 衆議院議長 総務大臣  
 参議院議長 農林水産大臣  
 内閣総理大臣 環境大臣  
 財務大臣 経済産業大臣

消費税増税中止を求める意見書  
 全員異議なく採択

### 要旨

安倍政権の経済政策により、株価の値上がり、急速な円安が進行し、景気指数向上への効果が出ていると報道されているが、多くの国民は景気回復を実感しておらず、雇用情勢や個人消費も厳しい状況にある。不況下での税率引上げは、自治体内の地域経済に大打撃を与える。価格に税金分を転嫁できない中小企業は苦しくなる。住民の暮らしを守る為に消費税増税の中止を求める。

**【提出先】**  
 衆議院議長 財務大臣  
 参議院議長 総務大臣  
 内閣総理大臣



明本 恵一 議員

### 上勝町とJAの協力関係と金融機関指定金融機関もとに戻すのか

明本

町長

### 協力は進めるが指定は戻さない

問 歴代の町長はJA東とくしまとの関係改善を重視し、JAと町が良好な協力関係になれば、指定をJAに戻すよう明言していた。

答 花本町長 言明は聞いていない。現組合長とは親しく、仲違いはしてはいない。JAとの協力関係は進めるが、指定を元に戻す考えはない。

### 様々な理由の赤字と栽培マニユアルなぜ出来ぬ

問 創業以来の赤字その原因はなにか。

答 花本町長 映画に伴う人件費の増加だ。

問 県内外の観客動員数と費用効果を問う。

答 山田産業課長

観客動員数は県内3万人、県外12万人。いろいろの売り上げは伸びており費用効果はあった。

問 興行実績、金額は幾らか。

答 山田産業課長

興行収入はトータルで1億5千万円。

問 いろいろ栽培マニユアル作りは社業ではないか。町が乗り出した理由は。

答 山田産業課長

インタナー者、新規就農者が知識不足に悩んでいる。安定生産上、町としても必要だ。

作成状況は、7月に町がいろいろに見積り依頼した。ところが辞退してきた。

問 赤字による人員削減は何名で、経費削減額は幾らか。横石社長の後継者と言われた人がやめて人的な大穴があいたのでは。

答 山田産業課長

退職者は3名だ、希望退職と聞いている。

### 再生可能エネルギーのすすめ

問 小水力、清井製材跡地の発電は実現なく、ずさんな計画だった。いつ稼働するのか。

答 桑原企画環境課長

水利権の申請がまだだ。充電に要するパワコンが市場にない。稼働時期はわからない。

問 石本堰の直下に排水されている場所に水車を設置すればよいと思う、どうか。

答 花本町長

石本製材跡地は地権者に断られた。

問 ダム直下にしては。

答 花本町長

石本堰の所は水没する。

問 太陽光発電設備を開発してはどうか。

答 花本町長

候補地を募ったが適地がない。他に提言していただければ検討する。

### 高鉾公民館について

問 高鉾公民館の建て替えは、設計図も完成、議員に対する現地説明の席上で、新築に急方針転換されたまま現在に至っている。

建て替えしないまでも、高齢者の為の簡易リフト、ブロック壁の落下防止は必要だ。

答 花本町長 高齢者リフトは1,500万円かかる。単費では難しい。補助事業がないか探していく。

### 町営住宅の建設は

岩本

### 現地調査を実施している

町長

問 町営住宅用地の候補地は。

答 花本町長 藤川で2カ所、生実3カ所、福原1カ所の6場所の申し出がある。費用対効果の事もあり、また、中山間地域直接支払の補助を受けている所もある。今後研究して行く。

答 花本町長 大北谷口集落より要望書も出ており、現地も見たが、なだらかな広い土地がある。しかし中心地域から離れている。雪の心配もあり幹線から離れていることもあるのでもう少し調査、研究が必要である。

答 桑原企画環境課長

基本的には町長の言われるとおりである。集落が元気であれば町全体が元気になる集落プロジェクトに熱心に取り組んでいる地域で

### 公共事業

問 公共事業の事業実績、前年対比はどうか。

答 中原建設課長

前年対比、平成23・24年であるが24年度普通建設事業費、2億9,741万7,000円でマイナス35.4%、補助事業、マイナス41.7%、単独事業、マイナス35.8%、県営事業負担金等でプラス60.2%、災害復旧1億1,009万4,000円、マイナス13.3%である。24年度繰越額1億8,292万2,000円の増で実質的にはマイナス約12%である。

問 25年度の実績はどうか。今後の事業量の見通しは。

答 中原建設課長

道路新設橋梁交付金、地域の元氣臨時交付金もあり倍以上に増えている。今後の公共事業予算につ

いては先行き不透明であるが、関係機関に事業の要望を行い事業量の確保に努めて行きたい。

問 町内の建設業者はこれまで公共事業が少なく廃業規模縮小を余儀なくされており、事業量が増えると消化に支障はないのか。

答 中原建設課長

公共事業削減による長い冬の時代であり、建設離れが進み作業員の確保が難しくなっている現状がある。早期発注計画を立て、そうならないように努めて行くが、県工事、町工事が重なり集中した場合支障を来すことは予想される。

### 地域集会所の老朽化対策

問 集落の集会所は地域にとって最も重要な施設であるが、一部の地域で老朽化が見られる。町単の地域集会所修繕補助金は現在も継続されているのか。

答 横山総務課長

平成20年1月1日より実施され現在も継続されている。



老朽化する集会所

### 梅瀬地区の飲料水問題

問 現在梅瀬地区の飲料水不足が深刻化しているが対策は。今どき他の地区及び町簡易水道より水をもらい

運んでいるところはこの地区以外に存在するのか。

答 花本町長 緊急を要し、やむなく簡易水道より運んで頂いている。水利権の問題があり、行政的にはむづかしいところである。権利調整をぜひ地元でお願いしたい。条件が整えば検討できる。

答 中原建設課長

年にもよるが、水不足で運んだ方がいると聞いた事はある。深刻な問題と認識している。戸数、事業費等から検討はしているが事業化は非常にむづかしい。地元での水源確保調整が必要不可欠である。

問 水源地はあると思われるが要は交渉である。地元民だけでは利害関係等もあり、交渉が難しい面も多々ある。公平な立場である公職の者、例えば町長、職員が中に入り交渉できないか。

答 花本町長 町が権利調整とかの課題にどこまでやってよいか問題もあるが、私が出ていって話ができるもんであれば努力する。

町政を問う



岩本文昭 議員



武市 功 議員

武市

産業課長

# どうなった いれど栽培マニュアル

## 担当者が退職、 次年度へ持ち越し

**問** 637万4,000円予算計上の栽培マニュアル作成見積り依頼からいりど栽培マニュアル作成の担当者が退職、担当していた方も相当努力されていたようだが。

**答** 山田産業課長 内容について一緒に検討し一生懸命取り組んでいた。

**問** 見積り依頼をしたとのことだが、予算取りの段階で見積り等は出されていたのでは。

**答** 桑原企画環境課長(当時産業課長兼務) 予算要望は概算見積りであり、実施にあたり、再度仕様内容を確認整理、著作権の問題等踏まえ、仕様内容等のたたき台提示を受け

金額等再度精査し仕様書を作成、随意契約での見積り依頼をしていたが、担当していた職員が退職され、次年度へ持ち越さざるを得なくなった状況である。

### 上勝バイオ再生は可能か

**問** 経営検討委員会での評価は。

**答** 山田産業課長 状況は大変危惧。既存設備の老朽化に施設改修の時期が。

**問** 取引先の開拓で市場外取引が44%までの伸び率は評価された。

**答** 山田産業課長 機械設備、投資、人員配置等経営全般の計画案を11月中旬再度委員会で再審議したいとのことである。

**問** 経営検討委員の構成はどのような立場の人か。

**答** 山田産業課長 中小企業診断士2名、公認会計士、上勝町商工会長の4名である。

**問** 委員会設置は総務省からの指針がある。委員に上

勝バイオの役員、税理士が含まれているが問題は。

### 山田産業課長

バイオの監査役、税理士であるが、会社内容もよく把握しておられるのでお願いしている。

### 不良品対策について

**問** 今年6月頃不良発生雑草、不良槽があったようだが、その原因と改善対策は。

### 山田産業課長

雑草傘部の黒ずみと小ぶり化、要因は圃床内の酸素不足、対策としてプレス圧の正常化、湿度管理の見直し等行っている。

### 外部技術者指導、改善計画の成果は

**問** 昨年24年度重点施策計画書に栽培農家の外部技術者指導を得るとあったがどのように反映されたか。

### 山田産業課長

24年度決算資料にそういった内容のものは入っていません。

**問** 年度当初にいただいた改善計画書には記載があるが、違っているのか。

### 花本町長

栽培農家さんに栽培指導を願ったように聞いているが、詳細な内容については確認できていない。

### 山田産業課長

毎年、事細かに改善計画が出されているが、絵に描いた餅になっていないか。幹部間の意思疎通は図られているか。

### 山田産業課長

利益高、売上高増強といった部分で数値的に実績を残している。24年度最終的には損益を出したが改善施策が成し得なかったら8千万位の欠損予想も。黒字決算を目指して社員一同取り組み、頑張っている。

### バイオ再生の方向判断は

**問** 7月、市場栽培現場等視察で、販路について大量に安定供給の声も聞かれたが安値安定の現状、経営として成り立たない厳しい状況



展望

況、どのような判断で再生の方向を探られるのか。

### 花本町長

現在の生産量120万本は中途半端で生産性が低い。雑草価格は20年前の半値で推移していたが8月末150円と倍以上となった。つかみにくいのが販売市場。

設備等更新せず、従業員ができる努力の限界である。複数の基本計画案を策定中、投資、経営計画について精査している。経営検討委員会を審議、妥当性について意見を伺い検討をする。

その他、順調に進んでいる県道改良、宗教を通じて維持管理されている地域の文化的芸術遺産の保全管理について質問した。



片山 文昭 議員

# 県道の雑草等見苦しい が草刈しないのか

片山

町長



草木が覆い被さる県道

美しい村連合に加入しての取り組みは

**問** 美しい村としてどのような取り組みをしたのか。

### 桑原企画環境課長

町境の両サイドに看板の設置、連合の方々の講演会の開催、全戸へ機関紙の配布、東京で開催し

た美しい村連合フェアで上勝食材のPR。

**問** 美しい村連合に加入しているが、県道の雑草は見苦しい、以前ボランティアで草刈を実施していたが何故中止したのか。

### 中原建設課長

道路沿いで、足元も安定しない等の作業となり

ポランテアで実施するには危険、以前参加者の中に怪我をされた方もいたと言つ事が理由と思われる。

また、東部県土整備局に問い合わせたところ、作業範囲等は道路の空間地面から高さ4m50cmまで対応して頂けると聞いている。

**問** 町民に呼び掛け、町費でポランテア保険を掛けて実施しては。

**答** 花本町長 地域の安全を守る会の中で有志が実施しようと言つ声が出ています。町内に呼びかけ、名前も出して頂き保険は町で対応するよう

検討したい。また、県へも杓子定規じゃなく、高所作業車やガードマンとか、そんなことを配慮できないか協議をするよう指示している。

### 集落再生の参加状況は

**問** 集落再生の参加数・実施状況は。

### 桑原企画環境課長

22年度は65集落中53集落、81・5%初年度は多くの参加があった。23年度は少し落ち込み23集落、24年度は42集落今年度は実施中の集落もあり、随時増えて来ると思われる。

### 支援員を配置し2年

**問** 支援員を配置し2年になる、そして今年から地域おこし協力隊が雇用された。協力体制は出来ているか。

### 桑原企画環境課長

地域おこし協力隊は現在6名、基本的に地域で活動して3年間で定住する能力を身に付けて頂くこと。支援員とは、目的が違う。

### 特定検診の受診率に

**問** 特定検診の受診率にどう違うのか

### 傍示税務課長

特定検診の受診率は、特別調整交付金の配分される基準となる。現在60・1%。県内で1位だが62%以上であればさらに良いので受診率アップのため、皆さんも健診を受けてほしい。

# 健康診断を受け 自分の身は 自分で守ろう

**問** 町内で実施されている特定検診・がん検診等の受診率は。

### 桑原住民課長

20年度から特定検診が実施され初年度より24年度までの間県内では受診率1位を保持している。がん検診率も第1位、肺がんは第2位と県内では受診率高い。

**問** 特定検診の受診率にどう違うのか

### 傍示税務課長

特定検診の受診率は、特別調整交付金の配分される基準となる。現在60・1%。県内で1位だが62%以上であればさらに良いので受診率アップのため、皆さんも健診を受けてほしい。



松下和照 議員

松下

産業課長

# 人農地プランによる 具体的対応は 攻めの農業・農地の集積等 について検討

**問** 国は10ha単位の集積を目指しているが、本町では1haの営農も厳しいと思うが、どう考えているのか。

**答** 山田産業課長

国も経営規模の拡大方向を目指している。人農地プランの作成によって集積・流動化について検討する。

**問** 農地集積に関して1反く5反未満に30万円支払うと言う。小額で手放せとは理不尽ではないのか。また、6次化推奨について、棚田地域での方策を伺う。



稲刈りのあと（生実）

**答** 山田産業課長  
平地と山間地とは条件的に変わってくる。国の方針で集積誘導が進むか見極め、本町にとって妥当か考えたい。6次化について数件事例はあるが、販路を持たない農家の、顧客の目線に立った商品づくりには課題も多いが、可能な範囲で支援する。

**答** 花本町長  
前段の6次化については商工会を中心に指導員の派遣ができる。PPP交渉がまとまれば山間地は打撃をうける。  
機会があれば国に反対していくが、現状ある直払い制度や各種補助制度を活用して戴くと共に、先人達の遺産を次に継いでいってほしい。水不足については植林の影響もある。

**問** いろいろ、花木の販売の動向は。映画いろいろの全国規模の成功の裏に経営不信とある。この分野も高齢化と新規参入者もあるが現状はどうか。

**答** 山田産業課長

株いろいろは創業以来初めて損失を計上。彩販売は2億2,300万円、対前年比112%。花木は、3,160万円。前年比97%。高齢化と農家の撤退、花木の改植があげられる。新規就農者は5名が定住している。

## 上勝町内の景観 保全、サインについて

**答** 森副町長  
美しい村理事・委員によると、サインは設置誘導を行う上で重要であるが、景観への配慮も必要との事。町としては県道周辺のサインの一部見直しを実施した。

**問** LEDサインについて現場に行くとき少し本体が高く、藤川の風景に馴染まない。移設し直してはどうか。

**答** 桑原企画環境課長

この問題は町全体の事も関係する。目的によって視点が変わってくる。住民主体のサインか、来町される人を主体にするのか、いずれにしても景観アドバイザーの意見、また、設置者の意見を踏まえて検討したい。

**問** 県道沿いの案内壁画について、日本で最も美しい村連合に加盟し、知名度も高い。サインはお客様を迎えるためと思うので少し控えめがおもてなしの心が伴うと思うが見解を伺う。

**問** 学校給食の地産地消は大変よいが現状はあまり進んでいない。価格問題か、数量の調達出来ないのか伺う。

**答** 柏木教育長

食の安全を考え、県学校給食会より購入。県内産米を利用。また、米のとき汁にはセレウス菌があるため、無洗米を使用。価格は10kg当り3,460円、3,620円。30kg×50袋必要。また、無洗米は全農パールライスにしかできない。町内産米をJAに供給してくれる、地産地消はできる。

## 基金預金を森林整備に充てよ

渡部

## 山が変わればいい というものでない

町長

**問** 山林管理はどのように。

験を始めている。そういう挑戦には県も協力することだ。これを入りに森林事業を進めていきたい。

**答** 花本町長

伐期を過ぎた山林が殆ど、林業従事者の高齢化、このままでは山林の崩壊の危険がある。  
杉地で、流域団地を形成して森林施業をする実

**問** 上勝町は県の町村の中でもトップレベルに基金を積み上げている。24

年度も2億7千万円積み立てた。  
これの10%、20%を毎年山に投入すれば計画も立てやすい。仕事も生まれる。  
金だけでなく良い木を乾かして貯蓄するのもひとつの手だ。

**答** 花本町長  
金をつぎ込んで、はけ口がなければ売れない。切り捨ては山崩れのとくに二次災害が起きる。  
いろいろな人がいろいろな提案をするが、もっと研究をしないと、単に山だけがかわれば解決するものではない。

## 空き住宅（8戸）は 地域おこし協力隊のためか

## 新職員のために 取ってある／町長

**問** 町住宅、空きはいくつ。

**答** 中原建設課長

8戸が空いている。うち4戸が修繕中、あと4戸は町に必要な人材のために確保してある。

**問** 前町長と同じ、町職員を優先はおかしい。しかもその間何ヶ月も家賃収入が入らず損失を出している。

**答** 花本町長

職員は警報が出たときに出動するようにしている。  
一般の人にはそれが言えない。  
(次回に質問を続けます。)

他に株いろいろのマニュアル作成中止について質問した。

杉は資源、利用を待っている



渡部厚子 議員

# (株)上勝バイオ「先進しいたけ生産システムと流通視察」

上勝バイオの今後のあり方を捜すため、行政・議会・バイオ・コンサルタントが合同で流通生産の現場各地を視察調査した。

横山営業推進室長、香取椎茸担当に説明を受ける。  
売上高404億(野菜263億、果実141億)の市場である。上勝バイオの椎茸の取引は日量30ケース〜50ケース程度との事、徳島県産の椎茸が47%を占めている。(730トン)バイオの物は日量100ケース位ほし

## バイオ産椎茸が日量30ケース

名古屋北部市場(株)名果

平成25年7月9日

いとの事であるが、それだけ供給出来ていない。徳島県産の品質は同じレベルにある。  
全国の市場で共通しているのは仲卸が減っている事であるが、北部市場は現在30社まで少なくなっている。経営が良いのは5社程度との事である。(岩本)

東日本、中部方面に店舗を構えるスーパーである。店舗数103、売上高2,867億円、本社群馬県前橋市、バイオ取扱店13店舗との事。担当の垂水氏、西野氏に話を伺う。椎茸は上勝バイオのみ扱っている。パック6枚入り158円、300g袋入り398円、の販売価格である。1日の販売数量は300gが10袋、パック入り50パックと良く売れている。他のきのこ類はブナシメジ、えのき、まいだけ、エリンギと数多く並んでいる。品揃えが豊富で1袋これも78円の価格である。椎



バイオの椎茸が並び

## 店舗数103のスーパーマーケット

(株)ベイシア岐阜店

平成25年7月8日

茸は水分多く棚もちが悪く2日間位しか持たないとの事。(岩本)

鹿島

産業課長



鹿島 國男 議員

# 株いっきゅう以外に町民が平日入浴料が無料はあるのか

## 町外の温泉に無料のところはない

**問** 8月1日より町民は平日入浴料が無料となったが、他の県内の温泉で無料のところがあるのか。

**答** 山田産業課長  
第3セク関連の温泉施設は、県内10ヶ所あるが、無料のところはない。

**問** 会社が赤字なのに、入浴料を無料にすれば、赤字が増えるのではないのか。取締役会で決めたか。

**答** 花本町長  
取締役会に、私も同席して決めて。この施設は、町民に愛され、親しまれる施設として建築し、株いっきゅうの株主も、1株株主というようなことで、町民の多くの人に持株制度を取り入れて設立した。今回の入浴料無料化は、職員と町民が顔を突き合わせて、親しく、料理やサービス、イベントなどを伝えて、町民にも温泉の宣伝をする一翼を担ってほしいと計画した。



貸切風呂もある月ヶ谷温泉

**問** 従来の無料入浴券の取扱いは。

**答** 花本町長  
一般の方は、平日無料であるが、土曜日、日曜日、祭日、年末年始、お盆は有料だ。65歳以上の方は、土曜日、日曜日、祭日は無料。年末年始とお盆は遠慮してほしい。

## いろいろマニユアルは

**問** 予算も通っている、いろいろのマニユアルはどうなっているか。今後の計画を広報誌に載せ、報告できないか。

**答** 花本町長  
株いっきゅうの方から、彩部会員には説明してもらう。町の広報誌に載せる案件ではない。

## 2020年ゼロウェイストの見通しは

**問** 2020年ゼロウェイスト宣言の見通しはどうなっているか。

**答** 花本町長  
今後の推進方法を定めるために、内閣府の特定地域再生補助(推進計画策定)事業を受けて、今年度専門家の委員で廃棄物調査等を行っている。2020年に向けたゼロウェイスト推進計画の素案を策定し、来年度に住民の意見を聞いて計画を策定したい。

## 有機栽培省エネ椎茸生産現場を訪ねて

(株)ハルカインターナショナル(有)和良農産 岐阜農場

平成25年7月9日

岐阜県郡上市和良町横野919(株)ハルカインターナショナル会長井上九州男氏の案内で見学。標高300メートル位の山間をくぐり抜けた平地にホダ生産工場、栽培棟、出荷造り施設等が併設されていた。作業現場は、中国人実習生ばかり、その日は榎木生産の、オガ粉充填作業に従事し、原始的な充填機械で手作業がほとんど、てきぱきと作業をこなしていた。雇用募集をしたが地元での応募がなかったとのこと。  
有機椎茸自然栽培方式での生産システムで、国際認証制度ジョナの有機認証をとっている世界でもまれなる椎茸栽培で、TPP交渉の中でも、勝ち残れる農業としてアメリカから取材活動があったと聞かされた。  
夏場の栽培棟は、遮光ネットとハウスの上面霧状散水による冷房、冬場は新ホイラーによる暖房、楢木は長さ60cm、半径8cmくらいの円筒形、中国方式の楢木である。夏場の需要の少ないときは生産量を減少させる計画の作業工程計画を立てているとか。人員を削減



中国人の手作業パワー

# 機械化と人力の結集

有信州興産七瀬工場  
小布施農場

平成25年7月9日

長野県中野市にある有信州興産七瀬工場・小布施農場を訪問し、しいたけ画像処理選別、自動計量システム、新しい培養・栽培設備等の視察を行なった。

高額な設備投資により機械化が図られていたが、随所に栽培等の研究された技術が導入され、徹底した管理のもと、従業員全員が一人となり栽培に取り組んでいた。従業員全員の培養・栽培・販売に対する研究心と熱意が無ければ成功しないと感じた。

(片山)

長野県中野市にある有信州興産七瀬工場・小布施農場を訪問し、しいたけ画像処理選別、自動計量システム、新しい培養・栽培設備等の視察を行なった。



手さばき素早い作業員

# 最先端のホダ木製造

株上田産業 中田工場

平成25年7月10日

富山県にある中田工場を視察。工場概要の説明を受けた。社長挨拶の中で同社立山繊維工業は40周年を迎えた。ウエイトは菌床シイタケにあり、より高度なものを目指している。高岡工場も同様に進める。ブロックの充填圧に工夫がある。主に人手のかかる検品工程の自動化に力を入れている。

上田菌については社外販売も可。売上は17億円中シイタケ15億円程。パート従業員の出勤時間にはバラつきがあり支障をきたしているとのこと。

シイタケの自社栽培計画を持ち、将来直営棟を増す。

(松下)



# ヒートポンプで省エネ

伊香しいたけ生産事業協同組合

平成25年7月10日

滋賀県伊香しいたけ生産事業協同組合を視察。

栽培方法について、ハウス棟を視る。7段×2、6ヶ月サイクルの栽培。ヒートポンプで冷房、冬期は暖房する。地下水を利用し2時間毎に散水。降雪量は2m程ある。

衛生面では、小バ工取紙、電撃殺中器を使用していた。ほだ木(2010菌)は100日間かける。三洋冷房機25万×4台を6棟に設置。県補助1/3利用。夏場の電気代が高む。廃ほだは肥料として使用。材は、かし・くぬぎ・小ナラ等匂いのいい木を使う。販売先は近畿地方。ほ

だ販売が多い程利益も大きい。契約農家には50円引きの170円で販売。年間を通じて生産量の平均化要、設備投資も定期的に決断する。しいたけ販売は発泡箱で、黒色が豪華に見える有利。経営者の状況判断と、工夫・信念を持って取り組む中間管理職の存在がある。

(松下)



担当者から説明を受ける

# 株上勝バイオの取扱高 1億5千万円

株徳島青果

平成25年7月16日

徳島青果の各産地のシイタケを見る。

夏の暑い時期であるが、どんこのシイタケが多かった。開いているのは少なかった。

上勝バイオとは15年の取引があり、昨年は1億5千万円だった。主な取引先はマルナカで、いろいろな販売方法を企画し販売する。

品質は、最近良くなってきた。このことであつた。

きこの夏場はどこでも赤字になる。それをこの10年、売れるように努力してきた。

どこの生産者も品質は向上している。若い人達はこだわりを持って作っている。

上勝も若い人の力を生かせるのではないか。冬場の増産、ストーリー性のある商品を求めるこのことであつた。

(鹿島)



# オガ粉ボイラーは高いか

株暁産業

平成25年7月16日

ここは重油の代替え燃料として、オガ粉を使ったボイラー一式を製作している。廃ホダも粉砕して燃料に使っている。

重油1ℓ80〜90円、オガ粉なら50〜60円、自社でオガ粉を製造すれば、30円で済むとのことだが、1分間にオガ粉6kg燃焼する。灰

補助金や融資を受けると半額で済むとのことであつたが、8千万円位かかるとのことであつた。オガ粉製造機は別で、一式揃えると1億円以上必要。

(鹿島)



オガ粉ボイラー



# まちのようす



実りの棚田（生実）



地元のお店（田野々）



スタチの搾汁



建設中の大北アート



防災訓練の様子



水量豊かな灌頂ヶ滝

## 編集後記

ひとときわ黄金色が輝いた今秋の棚田、我が家の田んぼも例年になり作柄であった。

管理され耕作されている棚田で、作業が大変になった、来年は誰かに田んぼを作ってもらおうことにした。そんな声が聞こえてきた。

高齢化が進み、田んぼだけにあらず、畑作果樹園等も例外ではないだろう。農地の保全管理が難しくなっている。早期対策の必要が迫られる。

農地の荒廃は、地域の衰退へ、地域で考える農地の保全プラン、行政主導の積極的仕掛けが必要だ。私達に課せられた使命でもある。

（武市）

